



第703号



岩手県森林組合連合会

発行／岩手県森林組合連合会
 住所／岩手県盛岡市中央通3丁目15番17号
 電話／019(654)4411
 FAX／019(654)4420
 URL／<http://iwatemoriren.org>

木材総取扱量は四六万³m

岩手県森連第百一回

通常総会開催される

岩手県森連の第百一回通常総会が、二月十九日午後一時から、盛岡市中央通の岩手県森林組合会館で開催され、令和元年度事業成績、令和二年度事業計画など全十一議案を原案通り承認、決定した。元年度の当期剰余金額は三〇二五万

円と、計画比一一・八%の実績計上となった。

なお、総会では任期満了に伴う役員改選を行い、総会終了後に行われた理事会において代表理事会長に中崎和久氏、代表理事専務に澤口良喜氏を選任した。

岩手県森林組合連合会 通常総会



中崎和久代表理事会長の挨拶

開会に当たり中崎和久代表理事会長は、「大きな自然災害が毎年発生しており、改めて森林の持つ公益的、多面的機能、森林の大切さを感じていることと思う。」

その中で、令和という時代に相応しい新たな森林管理システムや森林環境譲与税の交付がスタートした。また、昨年四月、岩手県産木材等利用促進条例が施行され、本年二月の定例議会の中で行動計画が可決され、さらに木材利用が高まるものと考ええる。

私達森林・林業に関わるものにとっては、新たな時代の

中で林業の可能性をしっかりと追及しながら、取り組んでいかなければならないという、大変厳しい状況ではあるが、明るい兆しが見えてきた時代となった。

現在、人口減少社会で住宅着工数も減少傾向にあるが、木に対する思いはますます高まるものと考えている。そういう中で、森林組合系統はしっかりと連携しながらこれに答え、取り組んでいかなければならない。

幸い国では、森林組合法の改正を目指している。大きな組合でも小さな組合でも、個々に事業連携をしながら、新たな価値観を見出し、新しいこうという取り組みである。

新たな時代は、森林・林業の価値をもう一度見直し、地域連携しながら大きく発展できるチャンスでもある。今後、さらに情報を共有しながら取り組んで参りたい。」とあいさつした。

このあと系統利用優秀組合、森林組合功労者の表彰に続き、来賓の関根敏伸岩手県議会議長、上田幹也岩手県農林水産部長、小島孝文東北森林管理局長、徳永雄亮農林中央金庫仙台支店長が祝辞を述べた。

令和元年度の主な事業をみると、指導部門では経営改善を要する森

林組合に対する指導の強化、森林経営計画作成実地指導を行ったほか、「森林経営管理法」に基づく「新たな森林管理システム」への取り組みを図るため、岩手県から『意欲と能力ある林業経営体』の認定を受け、森林経営管理制度に対する指導体制の整備に努めた。

共販事業では、広葉樹フロア表面材の需要が旺盛なことから好調だったほか、名古屋城向けアカマツ等良質材の集荷に努めたことなどから、取扱量一八万二二一五m³(計画比一〇九%)、取扱高二億二一七一万円(計画比一〇八%)

の実績。直販事業では取扱量一七万九六六〇m³(計画比九八%)、取扱高一億一三二一万円(計画比九五%)となり、木材販売部門全体として、総取扱量が四六万四五五m³(計画比一一二%)、取扱高四九億二七二万円(計画比一一五%)となった。木とくらしの相談所事

業では、県内外の工務店、設計事務所に対し県産材を中心とした建築資材の積極的な営業を行うとともに、地元森林組合と連携し、公共施設への地域材の利用を推進したことから、損益で計画比一一二%の実績を計上した。

乾しいたけ販売事業では、取扱量が三万一〇五五kg(前年比七三%)、取扱高は九〇八九万円(前年比六五%)、販売単価としては、kg当たり二九二六円(前年比八八%)となった。

森林整備部門では、地域の森林組合と連携し、環境の森整備事業等に取り組み、森林整備五四・八五m²、二四九六万円の実績となった。利用事業は、立木調査、測量設計業務、病害虫防除事業など金額で四九三二万円の実績となった。これらの結果により、事業総利益は二億六八一三万円となり、当期剰余金として三〇二五万円(計

画比一一八%)を計上した。

令和二年度の部門ごとの主な取組項目は次の通り。

I 指導部門

- (一) 新系統運動の着実な実践(二) コンプライアンス態勢の強化(三) 提案型集約化施策の推進(四) 経営改善組合の経営指導強化と中核組合認定取得の推進(五) 各種研修会等の開催による人材育成と組合会計・業務の効率化(六) 作業班体制の強化・充実と労働安全対策

II 販売部門

- (一) 木材販売体制の強化及び木材安定供給体制の整備・強化(二) 県産材の利用拡大(三) 共販事業の拡充(四) しいたけ原木の供給(五) 放射能汚染被害対策の徹底

III 森林整備部門

- (一) 再造林事業の推進(二) 森林整備事業の推進(三) 森林防除事業の推進(四) 森林保険の加入促進

令和元年度表彰結果

◇系統利用優秀組合

(一) 木材流通センター販売部門

◎優秀組合Ⅱ 浄安森組

◎努力組合Ⅱ 一関地方森組

久慈地方森組

(二) 一般販売部門

◎優秀組合Ⅱ 釜石地方森組

浄安森組

◎努力組合Ⅱ 花巻市森組

遠野地方森組

(三) 購買部門

◎優秀組合Ⅱ 盛岡広域森組

一関地方森組

◎努力組合Ⅱ 遠野地方森組

釜石地方森組

(四) 特産部門

◎優秀組合Ⅱ 久慈地方森組

◎努力組合Ⅱ 野田村森組

(五) 森林保険部門

◎優秀組合Ⅱ 盛岡広域森組

宮古地方森組

守りたい 森と未来を 炎から

- ・強風時及び乾燥時には、たき火、野焼き、火入れをしないこと
- ・燃え広がりやすい枯草等のある場所では、たき火、野焼きをしないこと
- ・たき火や野焼きの場所を離れるときは、完全に消化すること
- ・たき火や野焼きは一人で行わず、水など消火の備えをすること
- ・たき火、野焼き、火入れをするときは、消防署に届け出ること
- ・火入れを行う際は、市町村長の許可を必ず得ること
- ・森林の周囲1kmの範囲内の「寄せ焼き」や「筋焼き」による野焼きは、火入れと見なされること
- ・たばこは、指定された場所で喫煙し、吸い殻は必ず消し、投げ捨てないこと
- ・火遊びはしないこと



農林水産大臣賞を受賞した出品財

農林水産大臣賞は大和田幸男氏 (陸前高田市森組)

第四十三回岩手県民有林良質材コンクール表彰者一覧

令和元年度農林水産祭参加行事
第四十三回岩手県民有林良質材コンクール表彰式が、二月十九日午前十一時から、岩手県森林組合会館で開催された。
今年度は七森林組合から百十六

点の出品があり、次のような審査結果となった。

(一) 最優秀賞(農林水産大臣賞、主催者賞)
大和田幸男 (陸前高田市森林組

合)

(二) 最優秀賞 (林野庁長官賞、主催者賞)
佐々木公男 (陸前高田市森林組

合)、松山正彦(盛岡広域森林組合)、小野寺義直 (一関地方森林組合)、菅野房雄 (陸前高田市森林組合)

(三) 優秀賞 (岩手県知事賞、主催者賞)
金澤裕臣 (盛岡広域森林組合)、畑田光男 (久慈地方森林組合)、佐藤光雄 (陸前高田市森林組合)、菅野政一 (陸前高田市森林組合)、大和田幸男 (陸前高田市森林組合)

(四) 優秀賞 (東北森林管理局長

賞、主催者賞)
三浦斉 (一関地方森林組合)、村上禮子 (一関地方森林組合)、及川繁 (一関地方森林組合)、高橋榮子 (宮古地方森林組合)、中曾根弘明 (久慈地方森林組合)

(五) 優良賞 (岩手県木材産業協同組合理事長賞、主催者賞)
小野寺隆治 (二戸地方森林組合)、岩脇伸市 (久慈地方森林組合)、小松孝雄 (遠野地方森林組合)、菊池耕三 (遠野地方森林組合)、千葉夏枝 (一関地方森林組合)

(六) 奨励賞 (岩手県林業改良普及協会長賞、主催者賞)
及川一郎 (一関地方森林組合)、佐々木松一 (久慈地方森林組合)、岡田實 (二戸地方森林組合)、菅原周一 (一関地方森林組合)、平中敏広 (二戸地方森林組合)

○努力組合 二戸地方森組

釜石地方森組

◇森林組合功労者

(一) 連合会職員

佐藤正則 (前業務部森林整備)

ループ長)

(二) 森林組合職員

高橋勝明 (前奥州地方森組参事)

小野寺充明 (前一関地方森組企画管理部次長)

杉山 知 (前岩泉町森組参事)

中野和子 (前野田村森組会計主任)

小林康夫 (前二戸地方森組参事)



森林とともに80年

森林保険

森林についての火災、気象災、噴火災による損害を補償

お申し込みは、お近くの森林組合、または森林組合連合会へご相談ください。



いわて森の棟梁研修会開催される

木の見方・使い方 人材育成・技術継承について

令和元年度第二回いわて森の棟梁研修会が、一月二十四日午後二時から、盛岡市盛岡駅西通にあるアイーナいわて県民情報交流センター会議室で開催された。

今回の研修会には、県内の工務店や設計事務所、製材工場等から五十八名が参加した。

「いわて森の棟梁」とは、岩手県が施主に対して、県産木材に関する相談や提案などを行う建築士や工務店等をアドバイザーとして登録する制度のことで、現在県内約六十社の事業者が森の棟梁として登録している。

研修会は、社寺工舎の菊池恭二代表を講師として招き、「木の見方・



槍鉋の実演の様子

「木の見方・使い方」と「人材育成・技術継承」について、槍鉋の実演なども交えて講演が行われた。

「木の見方・使い方」では、どのような木が神社仏閣に使用されるか、どのような木が造り手に好まれるかについて、古い建物や新築の神社仏閣の写真等と照らし合わせながら、説明が行われた。

また、木材の耐久性、腐朽性、横荷重に対する耐久性について、菊池氏自らが手掛けた神社仏閣の復元や、新築の経験を踏まえながら説明が行われた。

「人材育成・技術継承」では、

社寺建築の美的感覚の養い方、作り方として、「現在の社寺仏閣建物は江戸時代の木割法(匠名)によって、建築の柱寸法に対して比例的に部材の寸法が決まっている。その匠名に従って、全国で同じ建て方が使用されているが、それだけでは単純になるため、大工それぞれが匠名に沿いながらも工夫して建てている」と説明された。

また、人材育成について、次世代に社寺建築の技術・技能を伝えるには、弟子に仕事を任せ、失敗してもすぐ直させ次の仕事をすぐ任せる。そして、目を見て話をさせ、師匠がやって見せて弟子に仕事をさせる。言葉や文字では伝わらないことについては、いつも側で見て、感じてという伝え方をしなければならいと説明がされた。

達増岩手県知事を招いて

令和元年度 岩手県森林組合職員連盟

女性部会研修会開催される

令和元年度岩手県森林組合職員連盟女性部会研修会が、一月十七日午後一時半から、盛岡市中央通

にある岩手県森林組合会館にて開催され、県内十八組合の女性職員など百五名が参加した。

研修会に先立ち、京谷朱美女性部会長(遠野地方森組総務課長)からは、女性部会十年の歩みにつ

いて、「女性部会は、平成二十二年に連絡協調、情報交換を図り、地位向上と組合系統の組織強化への寄与を目的に設立されたものである。これまでに研修会等を開催し、会員の資質向上を図り、設立時二十五人だった構成員は現在五十七人となっている。

第一回研修会から各種の座学研修を行い、平成二十八年度から葛

岩手県森林組合連合会 3月上旬市況

一般素材県内各センター渡し丸太標準価格(㎡当たり)

樹種	長級 (m)	径級 (cm)	標準価格 (1㎡当たり)	今後の動向
スギ	4.00	10~16	8,500	↑
	3.65	18~28	12,000	→
	3.65	30上	11,000	→
	3.65	40上	11,000	→
	3.00	14~18	11,500	→
	2.00	18上	7,100	→
アカマツ	4.00	18~22	11,000	↓
	4.00	24~28	11,000	↓
	4.00	30上	11,000	↓
	4.00	40上	13,000	↓
	3.00	18~28	10,000	↓
	3.00	30上	11,000	↓
	2.20	40上	13,000	↓
	2.00	18上	7,500	→
	カラマツ	4.00	14下	12,000
4.00	16~28	16,000	↑	
4.00	30上	16,500	↑	



達増拓也岩手県知事の講演の様子

巻町、遠野市、宮古市と現地研修を行った。研修を通じた情報交換

により仕事の質や考え方に変化が出てきている。

互いの情報を共有できるとなり、自覚も生まれ、飾らない本音で話せるようになった。徐々に個人のスキルもアップし、情報の広がりを通じて組織も成長してくと考える。」と述べられた。

次に達増拓也岩手県知事から、『女性が輝くいわての林業』と題して講演が行われ、「高性能林業機械の導入やアシストスーツ、空調服等を活用することで、現場作業での体への負担が軽減され、林業現場への女性の進出はさらにやすくなる。

最近の林業事業体の動きとして、女性の視点や女性同士のチームワークが現場作業の効率化をもたらす可能性があるということ、女性のみでの作業班を目指している例があると聞く。

今後ますます女性の活躍が全体に効果を広げ、労働環境や職場環境の改善、生産性の向上が期待される。様々な技術の導入という点では、林業現場でのイノベーションも期待される。

働く女性、そして森林林業分野で働くということ、女性部会や他団体等とのネットワークを作り、林業分野を目指す女性へのアドバ

イスを行い、林業分野でのさらなる女性の活躍が進展することを期待し、本県林業が一層の発展をすすめる中で、皆さんの中から森林組合長や連合会長が出てくることを期待する。」と述べられた。

また、第二部では千田健哉県森林企画管理部長兼指導グループ長による『森林組合会計における仕事の基本』森林整備事業を主な対象に(令和元年度)と題し、昨今目まぐるしく変化する森林組合事業に対し、県内の森林組合において統一した会計処理が図られることを目的として開催された「岩手県森林組合経理事務改善研究会」において検討された、間伐事業における経理処理等、説明が行われた。

お知らせ

岩手県森林連では二月四日のコンプライアンス委員会にて『令和二年度コンプライアンス・プログラム』を策定、本会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

(トッパーページの一番右上『コンプライアンス』をクリックするとPDFが閲覧できます)

全体的にやや弱い

スギは、先月まで出荷量が少なかったが、3月に入り出荷量は増えた。直送された丸太が製材工場や合板工場でも在庫を抱えている為、弱含み。関東方面でも丸太が溢れ始めているという情報もあり、弱くなりそうだ。また、新型コロナウイルスの影響で今後の不透明感は少なからずある。

カラマツは、小径木から一般材まで需要があり、強保合い。アカマツは、シーズンオフに向かって今後弱含みになっていく。一般材は直送がメインで売行きは好調。

盛岡木材センターでは、広葉樹が強保合い。特にナラは、フローリング材の需要があり堅調。クリ、サクラ、鬼グルミ、トチも強保合い。今年は例年になく暖かい日が続いている為、シナなどの白い木にカビが入りやすい。山にある方は早めの出材を。

＜上段…特選材 下段…一般材＞ (m³当たり)

木材流通センター			盛岡	一関	遠野	高田	宮古	二戸	久慈	浄安	釜石	東磐
樹種	長級(m)	径級(cm)	2月20日 27日	2月4日	2月28日	2月14日	2月5日	2月6日	2月21日	2月26日	開催せず	2月27日
スギ	2.00	18cm上	-	6,500	7,100	-	-	7,100	7,200	7,100	-	7,000
	3.00	14~18	-	-	-	12,150	-	-	10,200	-	-	11,100
	3.65	18~28	-	11,000	10,800	12,800	12,200	-	-	11,500	-	11,100
	3.65 4.00	30cm上	26,000 10,600	35,000 10,500	11,000	11,100	12,500	-	11,000	10,500	-	10,800
	4.00	10~16	9,000	6,000	8,500	10,100	8,800	7,000	7,000	8,200	-	8,000
落札数量	4,426 m ³		466	132	660	531	152	329	513	692	-	951
アカマツ	2.20	36cm上	59,000 14,000	-	-	-	-	-	39,900 14,000	-	-	-
	3.00	14~28	11,000	-	-	-	-	-	11,000	-	-	10,600
	4.00	18~28	11,400	-	-	-	-	10,000	10,000	10,000	-	11,200
	4.00	30cm上	73,000 13,000	-	-	-	-	11,000	48,800 13,000	-	-	11,000
落札数量	2,048 m ³		1,050	6	11	1	41	43	559	107	-	230
カラマツ	4.00	7~13	11,000	-	12,300	-	8,000	8,101	7,500	-	-	-
	4.00	14~28	16,500	-	16,600	-	16,000	16,300	17,000	16,500	-	-
落札数量	645 m ³		74	0	238	0	27	94	183	20	-	9
出荷数量	11,784 m ³		4,954	389	909	683	272	641	1,713	861	-	1,362
落札数量	10,883 m ³		4,472	314	909	567	242	607	1,663	853	-	1,256
平均落札率	92%		90%	81%	100%	83%	89%	95%	97%	99%	-	92%
延べ参加者	289名		115	26	19	17	11	22	36	21	-	22

※ 総出荷・総落札数量については、上記の樹種以外にも含みます。

今後の動向	スギ					アカマツ				カラマツ	
	2.00	3.00	3.65	3.65	4.00	2.20	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	18上	14~18	18~28	30上	10~16	36上	14~28	18~28	30上	7~13	14~28
強気配	○									○	○
保合い		○	○	○	○						
弱気配						○	○	○	○		

造作用材のポイント

1. 元根曲りを付けないこと
2. キズ、欠点などは除くこと
3. 延寸は十分付けること